

(別紙様式1)

令和2年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 福井県
農業委員会名： 池田町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和2年4月1日現在)

1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)
総農家数	162
自給的農家数	33
販売農家数	129
主業農家数	17
準主業農家数	—
副業的農家数	112

※ 平成27年度農林業センサス

	農業者数(人)
農業就業者数	
女性	
40代以下	

※ 平成27年度農林業センサス

	経営数(経営)
認定農業者	19
基本構想水準到達者	19
認定新規就農者	0
農業参入法人	0
集落営農経営	6
特定農業団体	2
集落営農組織	4

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	普通畑			樹園地	牧草畑	計
			普通畑	樹園地	牧草畑			
耕地面積								
経営耕地面積	319	20	9	11	0		339	
遊休農地面積	0	0	0	0	0		0	
農地台帳面積	506	70	32	0	38		576	

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	選挙委員		選任委員				合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	
農業委員数							
認定農業者							
女性							
40代以下	—						

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 3年 8月 31日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	6	6
認定農業者	4	4
認定農業者に準ずる者	—	—
女性	1	1
40代以下	—	—
中立委員	1	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	4	4	4

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和2年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	485.0 ha	260.0 ha	53.61% %
課 題	・既存の担い手等の農地経営面積は、ほぼ上限に達しており新規の集積面積は、あまり望めない状況となっている。新たに集積するには新規の担い手育成が必要。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 262.0ha (うち新規集積面積 ha)
	目標設定の考え方:
活動計画	人農地プランの実質化を進めるにあたり、担い手への農地集積は重要。このため実質化を進める各地区・集落において、誰に・どの程度・いつ集積を進めるかを協議する。この協議の場には、農業委員等も参加し、話し合い、実質化と共に集積を促進したい。

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	令和2年度新規参入者数	令和2年度新規参入者数	令和2年度新規参入者数
	0 経営体	0 経営体	0 経営体
	令和2年度新規参入者が取得した農地面積	令和2年度新規参入者が取得した農地面積	令和2年度新規参入者が取得した農地面積
	0 ha	0 ha	0 ha
課 題			

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

参入目標数	0 経営体	参入目標面積	0 ha
活動計画	-		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (令和2年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	485 ha	0.8 ha	0.16%
課 題	遊休農地の現場は、「農地から水が湧き出す」「あるいは水が引けない」など土地の条件不利によって発生しているため、圃場整備による条件改善が必要であり、遊休農地の解消は簡単ではない。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 ha			
	目標設定の考え方:			
活 動 計 画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		10人	4月～3月(冬期は未実施)	随時
	調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員などが各地域・集落の農地を監視し、その結果を農業委員会総会などで報告し、情報を共有する。 ・その情報に基づき、現地確認や地権者などへ意向確認を行い、遊休農地の解消を図る。 		
		農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期
その他	月～月	月～月		

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和2年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	ha	ha
課 題		

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の活動計画

活動計画	
------	--

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入